

科目名 (英)	導入研修	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	(Introductory Training)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 スキンケアメーカーでの美容部員の実務経験を持つ教員が担当する。 業界で活躍できるプロに必要とされる身構え、気構え、心構えを習得する授業を行う。 社会から求められているのは、化粧品・スキンケアに関する知識・技術だけでなく、人々のQOLを支え、社会に貢献するという役割だということを意識しながら授業に臨んで欲しい。							
【到達目標】 目的意識を高めプロに必要な身構え、気構え、心構えを身につける。また、同じ目的を持った仲間との相互支援的環境をつくる。							
【使用教科書・教材・参考書】 学生便覧、ITリテラシー、キャンパスライフガイド				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 新生活の準備を始める 【授業形態】 講義 【到達目標】 各種配布物の確認と説明を受け、内容を理解する。 学生生活に期待を持って始められるように準備をする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 新生活の準備を始める 【授業形態】 演習 【到達目標】 健康診断を通じて、健康であることの大切さや、日々の健康管理に留意することを学ぶ。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 クラス運営と目標について 【授業形態】 講義 【到達目標】 1年間共に学ぶクラスの約束事を理解する。 学校にある様々な支援を知る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 学生便覧の読み合わせ 【授業形態】 講義 【到達目標】 学校生活を円滑に進めるための学生便覧の内容を理解する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 学校生活のサポートについて知る 【授業形態】 講義 【到達目標】 学生便覧の内容を理解する。 進路決定に至った過程を振り返り、決意を文章化する。 JTSCを知る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 時間割とシラバスの見方 【授業形態】 講義 【到達目標】 時間割の見方を知り、スケジュールを立てられる。 シラバスの見方を知り、学習計画を立てられる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 ITリテラシー 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会生活を営む上で必須とされるITリテラシーを学び、理解度テストに合格する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 就職活動、個人面談 【授業形態】 演習 【到達目標】 就職活動にあたっての流れや注意点を把握し、履歴書の内容について考えられるようになる。				【評価方法について】 評価は学則の評価基準に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	スキルアッププログラム (Introductory Training)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【授業の学習内容と心構え】							
教員歴18年目の担当教員が【協働】とは何かを考え、仕事を通じて成長できるプログラムを行う。 美容業界の実際を見に行き、なりたい分野や興味のある分野を確固たるものにする。							
【到達目標】							
美容業界で働く人を実際に見て、入職した時のイメージができるようになる。 所作や言葉遣い、周りへの気遣いを見て聞いて学び、入職前から普段の生活で活かせるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
配布資料				ニュースや雑誌など色々なところから最新の美容情報や話題の情報を常に意識する。			
回				回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 導入研修Ⅱの目的と、ルール確認 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・導入研修Ⅱの目的を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 課外授業 【授業形態】 【到達目標】 ・現場に直接行き、カウンセリングを受けることで、所作や言葉遣いなどを普段の生活から活かせるようにする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 課外授業 【授業形態】 【到達目標】 ・現場に直接行き、カウンセリングを受けることで、所作や言葉遣いなどを普段の生活から活かせるようにする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 課外授業 【授業形態】 【到達目標】 ・現場に直接行き、カウンセリングを受けることで、所作や言葉遣いなどを普段の生活から活かせるようにする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 発表 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・課外授業での学びをまとめ、クラスで発表できるようにする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・課外授業での学びをまとめ、クラスで発表できるようにする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 発表 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・課外授業での学びをまとめ、クラスで発表できるようにする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 発表 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・課外授業での学びをまとめ、クラスで発表できるようにする。				【評価について】 評価は学則の評価基準に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	キャリアデザインⅠ (Career DevelopmentⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 1限
【授業の学習内容と心構え】 教員歴18年目の担当教員が【協働】とは何かを考え、仕事を通じて成長できるプログラムを行う。 自己理解、他者理解を通じて、コミュニケーションの重要性を理解し、身につける。 人間教育を柱に授業を行うので、積極的な態度で受講して欲しい。							
【到達目標】 自己理解ができる(自分の強みが何かを言語化できる) 他者理解ができる(自分との違いについて認め、その違いを楽しめる) 自己管理をし、自己責任ができる(他人のせいにならない考え方を学ぶ)							
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料、就職関連教材、資格関連教材				【授業外における学習】 学校生活ではすべて美容業界に繋がることを考えて行動を心がけましょう 常にアンテナを張り、美容のトレンドにを察知して自分の知識にすることを心がけましょう			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 導入研修の振り返り、サポートアンケート 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・就職活動の心構えと流れの再確認をする ・有意義な学校生活を送るための準備が出来る			9	【授業単元】 プレゼンテーション技法① 【授業形態】 演習 【到達目標】 自分のおすすめのスキンケア製品についてお勧めするPOP作成		
2	【授業単元】 就職対策(1) 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・自己分析を行い、履歴書に必要な情報をまとめられる。			10	【授業単元】 プレゼンテーション技法②4 【授業形態】 演習 【到達目標】 自分のおすすめのスキンケア製品についてお勧めするPOP作成		
3	【授業単元】 就職対策(2) 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・いつでも活動が出来るように、就職活動の準備ができる			11	【授業単元】 プレゼンテーション技法③ 【授業形態】 演習 【到達目標】 自分のおすすめのスキンケア製品についてお勧めするPOP作成		
4	【授業単元】 自己理解と他者理解 【授業形態】 演習 【到達目標】 自分の意見を持つ 自分の意見を述べる 他者の意見を聞き、受容する			12	【授業単元】 マナー教育 【授業形態】 講義 【到達目標】 お金とやりがいについて理解し、働く意欲を高める		
5	【授業単元】 聞く力 【授業形態】 演習 【到達目標】 聞く力がどのくらいあるか知る 要約して話すことができる			13	【授業単元】 求人票を探す 【授業形態】 講義 【到達目標】 働く意欲を高める 働きたい気持ちを高める 自分の働きたい分野を考える		
6	【授業単元】 3つの習慣① 【授業形態】 演習 【到達目標】 良い習慣とは何か知る 今後、実践しようと意欲が出る			14	【授業単元】 グループディスカッション 【授業形態】 講義 【到達目標】 グループディスカッションで率先して意見が言えるようになる		
7	【授業単元】 3つの習慣②③ 【授業形態】 演習 【到達目標】 良い習慣とは何か知る 今後、実践しようと意欲が出る			15	【授業単元】 定期試験、解説 【授業形態】 筆記試験 【到達目標】 前期の学びを確認する		
8	【授業単元】 中間試験・エニアグラム 【授業形態】 講義 【到達目標】 中間テスト 自己理解をする			【評価について】 ●評価対象 出席数、提出物、定期試験 ●試験方法 筆記試験、提出物作成 ●評価配分 提出物と中間試験:40点分 出席数(15点分)、提出物、定期試験:60点 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 美容業界の求人の動きが早いので、企業研究は毎日行うこと。 また、少しでも興味のある企業は積極的に説明会などに参加をすること。							

科目名 (英)	キャリアデザインⅡ (Career Development Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 3限
【授業の学習内容と心構え】							
教員歴18年目の担当教員が【協働】とは何かを考え、仕事を通じて成長できるプログラムを行う。 自己理解、他者理解を通じて、コミュニケーションの重要性を理解し、身につける。 人間教育を柱に授業を行うので、積極的な態度で受講して欲しい。							
【到達目標】							
自己PRがしっかりと言語化でき、就職の内定をもらう 他者とのコミュニケーションが楽しいと感じ、発信することができる 自分さえよければ良いという考えは捨て、他者のために行動できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
配布資料、資格関連教材				日々変わる美容の最新トレンドを常に意識していきましょう。 また、プライベートで接客された時にどこが良かったか、自分だったらこうしたい など、接客マインドをもてるようにしましょう。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】前期の振り返りと後期の目標設定 【授業形態】講義 【到達目標】 ・前期で学んだことを振り返り、整理できるようになる。 ・後期の目標設定をし、気持ち新たに後期スタートできるようになる。			9	【授業単元】社会人スキル(3) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・お金について考え、生きていくための知識を身につける。		
2	【授業単元】グループディスカッション 【授業形態】講義 【到達目標】 ・後期の授業に向けて自分の気持ちを整理できる。			10	【授業単元】学習成果発表会に向けて(1) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・学習成果発表会について理解する。 ・ポスター発表に向けて、掲示物の準備をする。		
3	【授業単元】接客スキル(1)情報の聞き出し方 【授業形態】講義 【到達目標】 ・相手に共感し理解できる力を身につける。			11	【授業単元】学習成果発表会に向けて(2) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・ポスター発表に向けて、掲示物の準備をする。		
4	【授業単元】接客スキル(2)お客様タイプ別ケーススタディ 【授業形態】講義 【到達目標】 ・臨機応変に冷静な対応ができるようになる。			12	【授業単元】学習成果発表会に向けて(3) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・ポスター発表に向けて、掲示物の準備をする。		
5	【授業単元】接客スキル(3)クレームケーススタディ 【授業形態】講義 【到達目標】 ・焦らずに適切な対応がとれるようになる。			13	【授業単元】学習成果発表会に向けて(4) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・ポスター発表に向けて、掲示物の準備をする。		
6	【授業単元】接客スキル(4)パーソナルカウンセリング 【授業形態】講義 【到達目標】 ・パーソナライズな接客をするために何が大切かを考える。			14	【授業単元】学習成果発表会に向けて(5) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・ポスター発表に向けて、掲示物の準備をする。 ・いつでも発表できるようにリハーサルする。		
7	【授業単元】社会人スキル(1) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・社会人としての基本となることを学び、新社会人に向けて準備する。			15	【授業単元】定期試験、解説 【授業形態】筆記試験 【到達目標】 ・1年間の学びを確認する。 ・1年使ってきた実習室をキレイにし、次年度の在校生にもキレイに 使ってもらえるようにする。		
8	【授業単元】社会人スキル(2) 【授業形態】講義 【到達目標】 ・社会人としてのルールやマナーを再確認する。			【評価について】 ●評価対象 出席数、提出物、定期試験 ●試験方法 筆記試験、提出物作成 ●評価配分 提出物と中間テスト:40点分 出席数(15点分)、提出物、定期試験:60点 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	IT スキル (IT Skill)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 4限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。 ＜学習内容＞ ・コンピュータネットワーク環境の適切な利用を学ぶ ・Wordで複合文書を作成する ・Excelの基本操作やデータベース、効果的なグラフの作成方法を学ぶ ・メールマナーを学ぶ							
【到達目標】 ・新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・Wordを利用し、複合文書の作成ができる ・Excelを利用し、表計算や表、グラフの作成ができる ・マナーを理解し、メールを送信できる							
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				【授業外における学習】 次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 CCT入門1 【授業形態】 講義 【到達目標】 講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる			9	【授業単元】 メールマナー 【授業形態】 講義 【到達目標】 受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる		
2	【授業単元】 CCT入門2 【授業形態】 講義 【到達目標】 新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる			10	【授業単元】 Excel基礎1 【授業形態】 講義 【到達目標】 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる		
3	【授業単元】 CCT入門4 【授業形態】 講義 【到達目標】 Officeの基本操作ができる			11	【授業単元】 Excel基礎2 【授業形態】 講義 【到達目標】 関数を駆使した資料を作成できる		
4	【授業単元】 Word基礎1 【授業形態】 講義 【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる			12	【授業単元】 Excel基礎3 【授業形態】 講義 【到達目標】 グラフを駆使した資料を作成できる		
5	【授業単元】 Word基礎2 【授業形態】 講義 【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる			13	【授業単元】 Excel応用A(データベース) 【授業形態】 講義 【到達目標】 データベース機能を理解し活用できる		
6	【授業単元】 Word基礎3 【授業形態】 講義 【到達目標】 表を駆使した文書を作ることができる			14	【授業単元】 Excel試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 Excel基礎で習ったことを実践できる		
7	【授業単元】 Word試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 Word基礎で習ったことを実践できる			15	【授業単元】 Excel試験 【授業形態】 講義 【到達目標】 定期試験 Excel資料作成		
8	【授業単元】 Word中間試験 【授業形態】 講義 【到達目標】 中間試験 Word資料作成			【評価方法について】 評価は実技試験で行い、授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。 中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	化粧品学Ⅰ (CosmetologyⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 4時限
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学卒業後20年間、一貫してブランドの垣根を越えたカウンセリング販売に従事した講師が授業を担当する。幅広い価格帯の化粧品とブランド、客層に接しフラットな視点でのカウンセリングを提供してきた。フリーのコスメアドバイザー、パーソナルカラーアナリスト、メイクアップアーティストとしても活動中。 日本化粧品検定協会認定コスメコンシェルジュ、CAA認定プラチナ講師							
【到達目標】 様々な化粧品に実際に触れて、使用法使用量なども含め正しい知識を身につける授業になるため出席を重視します。 また、プロのアドバイザーになるために自分だけでなく他人の肌や美容意識に数多く触れることを重要と考え、ロールプレイングやハンドデモ、意見交換など参加型で行うので、積極性を重視し評価します。							
【使用教科書・教材・参考書】 日本化粧品検定1級対策テキスト・2級対策テキスト・1級対策問題集・2級対策問題集				【授業外における学習】 予習・復習をする。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 クレンジング(油系:バーム、オイル) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)クレンジングの原理を知る 2)クレンジングアイテムによく使われる成分とその使用感を体感する 3)クレンジングアイテムの種類と特徴を理解する 4)様々なクレンジング商品を試し、官能評価を行う			9	【授業単元】 化粧水(ニキビ、メンズ) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)化粧水の目的や機能を知る 2)化粧水によく使われる成分とその使用感を体感する 3)化粧水の種類と特徴を理解する 4)様々な化粧水を試し、官能評価を行う		
2	【授業単元】 クレンジング(水系:ふき取り、リキッド、ジェル) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)様々なクレンジング商品を試し、官能評価を行う			10	【授業単元】 化粧水(美白、エイジングケア) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)化粧水の目的や機能を知る 2)化粧水によく使われる成分とその使用感を体感する 3)化粧水の種類と特徴を理解する 4)様々な化粧水を試し、官能評価を行う		
3	【授業単元】 洗顔 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)洗顔の原理を知る 2)洗顔アイテムによく使われる成分とその使用感を体感する 3)洗顔アイテムの種類と特徴を理解する 4)様々な洗顔商品を試し、官能評価を行う			11	【授業単元】 乳液・クリーム(乳液定番) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)乳液＆クリームの目的や機能を知る 2)乳液＆クリームによく使われる成分とその使用感を体感する 3)乳液＆クリームの種類と特徴を理解する 4)様々な乳液＆クリームを試し、官能評価を行う		
4	【授業単元】 石鹸 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)様々な石鹸を試し、官能評価を行う			12	【授業単元】 乳液・クリーム(ジェル乳液、クリーム、バーム) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)乳液＆クリームの目的や機能を知る 2)乳液＆クリームによく使われる成分とその使用感を体感する 3)乳液＆クリームの種類と特徴を理解する 4)様々な乳液＆クリームを試し、官能評価を行う		
5	【授業単元】 化粧水(敏感) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)化粧水の目的や機能を知る 2)化粧水によく使われる成分とその使用感を体感する 3)化粧水の種類と特徴を理解する 4)様々な化粧水を試し、官能評価を行う			13	【授業単元】 美容液 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)美容液の目的や機能を知る 2)美容液によく使われる成分とその使用感を体感する 3)美容液の種類と特徴を理解する 4)様々な美容液を試し、官能評価を行う		
6	【授業単元】 2級復習講義＋知識確認テスト＋解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)日本化粧品検定2級の重要箇所の復習 2)日本化粧品検定2級の知識確認テストで問題練習 3)日本化粧品検定2級の知識確認テストで復習 4)日本化粧品検定2級の内容を理解する			14	【授業単元】 スペシャルケア(ミスト、スクラブ、マスク) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)スペシャルケアの目的や機能を知る 2)スペシャルケアによく使われる成分とその使用感を体感する 3)スペシャルケアの種類と特徴を理解する 4)様々なスペシャルケアコスメを試し、官能評価を行う		
7	【授業単元】 1級復習講義＋知識確認テスト＋解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)日本化粧品検定1級の重要箇所の復習 2)日本化粧品検定1級の知識確認テストで問題練習 3)日本化粧品検定1級の知識確認テストで復習 4)日本化粧品検定1級の内容を理解する			15	【授業単元】 韓国コスメ(アンブルスティック、パッドなど) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)海外(韓国)コスメのトレンド情報を知る 2)新剤型に触れ、理解する 3)様々な韓国コスメを試し、官能評価を行う		
8	【授業単元】 化粧水(保湿) 【授業形態】 講義 【到達目標】 1)化粧水の目的や機能を知る 2)化粧水によく使われる成分とその使用感を体感する 3)化粧水の種類と特徴を理解する 4)様々な化粧水を試し、官能評価を行う			【評価方法について】 中間試験40点、定期試験60点のうち、日々的小テスト・出席状況・授業態度などを総合的に見て評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	化粧品学Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員		
	(Cosmetology Ⅱ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 1時限	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科							
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学卒業後20年間、一貫してブランドの垣根を越えたカウンセリング販売に従事してきた講師が担当する。幅広い価格帯の化粧品とブランド、客層に接しフラットな視点でのカウンセリングを提供してきた。フリーのコスメアドバイザー、パーソナルカラーアナリスト、メイクアップアーティストとしても活動中。 日本化粧品検定協会認定コスメコンシェルジュ、CAA認定プラチナ講師								
【到達目標】 お客様の肌悩みに対して最適な化粧品を選びだせるようになる。 多くのスキンケアに触れてどんな成分が使われているのかを理解し、アウトプットが出来るようになる。								
【使用教科書・教材・参考書】 ・日本化粧品検定2.3級対策テキスト ・日本化粧品検定1級対策テキスト ・美容成分キャラ図鑑 ※参考書「私に本当に合う化粧品」の選び方事典」				【授業外における学習】 店頭でのコスメのお試しやSNSの情報を通じ、様々な化粧品情報に触れ、化粧品のブランド名やブランド毎の特徴を理解しておく。人気や売れている化粧品についてなぜ人気なのか自分なりに考えておく				
回 授 業 概 要				回 授 業 概 要				
1 【授業単元】 クレンジング 【授業形態】 講義 【到達目標】 クレンジングの原理を理解する(復習) クレンジングアイテムの種類と特徴を理解する(復習) クレンジングバームの様々な種類を試し、官能評価を行うことで、同じ剤型の商品の中での違いについての理解を深める				9 【授業単元】 乾燥ケアコスメ 【授業形態】 講義 【到達目標】 乾燥の原因と対策を知る 乾燥ケア化粧品の種類と特徴を理解する 様々な乾燥ケア化粧品を試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				
2 【授業単元】 洗顔 【授業形態】 講義 【到達目標】 洗顔の原理を理解する 洗顔の種類と特徴を理解する 様々な洗顔を試し、官能評価を行う				10 【授業単元】 ニキビケア化粧品 【授業形態】 講義 【到達目標】 ニキビができる原因を知る ニキビケアアイテム(ニキビ予防の医薬部外品のスキンケア、ピーリングコスメなど)の種類と特徴を理解する 様々なニキビ予防のコスメを試し、官能評価を行う				
3 【授業単元】 化粧水 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧水の原理を理解する 化粧水の種類と特徴を理解する 様々な化粧水を試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				11 【授業単元】 毛穴ケア化粧品 【授業形態】 講義 【到達目標】 毛穴ができる原因を知る 毛穴ケアアイテム(酵素洗顔、クレイパック、スクラブ剤などの角質ケアコスメ、皮脂分泌抑制コスメなど)の種類と特徴を理解する 様々な毛穴ケアコスメを試し、官能評価を行う				
4 【授業単元】 乳液・クリーム 【授業形態】 講義 【到達目標】 乳液・クリームの原理を理解する 乳液・クリームの種類と特徴を理解する 様々な乳液・クリームを試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				12 【授業単元】 美白ケア化粧品 【授業形態】 講義 【到達目標】 シミができる原因を知る 美白ケアアイテム(美白の医薬部外品の美容液、スキンケア、パックなど)の種類と特徴を理解する 様々な美白ケアのコスメを試し、官能評価を行う				
5 【授業単元】 オールインワンコスメ 【授業形態】 講義 【到達目標】 オールインワンコスメの原理を理解する オールインワンコスメの種類と特徴を理解する 様々なオールインワンコスメを試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				13 【授業単元】 くすみケア商品 【授業形態】 講義 【到達目標】 くすみができる原因を知る くすみケアアイテム(ピールオフパック、ふきとり化粧水、炭酸コスメ、抗糖化ケアコスメなど)の種類と特徴を理解する 様々なくすみケアコスメを試し、官能評価を行う				
6 【授業単元】 オイル美容液 【授業形態】 講義 【到達目標】 オイル美容液の原理を理解する オイル美容液の種類と特徴を理解する 様々なオイル美容液を試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				14 【授業単元】 くまケア商品 【授業形態】 講義 【到達目標】 くまの原因と対策を知る くまケア化粧品の種類と特徴を理解する くまケア化粧品を試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				
7 【授業単元】 日焼け止め 【授業形態】 講義 【到達目標】 日焼けの原理を理解する 日焼け止めの種類と特徴を理解する 様々な日焼け止めを試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				15 【授業単元】 シワ、たるみケア商品 【授業形態】 講義 【到達目標】 シワができる原因を知る シワ改善の医薬部外品の美容液、スキンケア、など)の種類と特徴を理解する 様々なシワ改善のコスメを試し、官能評価を行う				
8 【授業単元】 化粧下地 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧下地、BBクリーム、CCクリームの原理を理解する 化粧下地の種類と特徴を理解する 様々な化粧下地を試し、官能評価を行うことで、種類ごとの特徴の理解を深める				【評価方法について】 日々の小テスト・提出物・出席状況・授業態度などを総合的に見て評価する。評価は学則規定に準ずる。				
【特記事項】								

科目名 (英)	化粧品品の衛生学 (Cosmetic Hygiene)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 殺菌・消毒等の衛生管理について、化粧品を扱うものとして必要な知識を学ぶ。衛生に関する知識や、安全に化粧品の取り扱いができるようにするために内容で、スキンケアアドバイザーとして必要な知識であるため、積極的に受講してください。							
【到達目標】 身の回りに存在する雑菌などの種類を学習し、どのように殺菌・消毒をすれば安全にいられるかを知ること、スキンケアのプロとして必要な知識。存在していても良い菌や、存在していた方が良い細菌もある。それらを知っておくこともスキンケアアドバイザーとしては必要である。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 復習をする			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 微生物学の歴史 【授業形態】 講義 【到達目標】 資料P6～9 人間がどのように微生物と出会い、関わってきたのかを知る。			9	【授業単元】 ウイルス 【授業形態】 講義 【到達目標】 P86～93 ウイルスについて学ぶ		
2	【授業単元】 微生物の生育のための環境条件 【授業形態】 講義 【到達目標】 資料P30 5・2～P33 微生物が育つ環境や条件を学ぶ			10	【授業単元】 使いかけの化粧品に付着している微生物を調べる 【授業形態】 講義 【到達目標】 使いかけの化粧品に付着している微生物を採取して調べる メイクをする際の注意点も学ぶ		
3	【授業単元】 菌界の菌類 【授業形態】 講義 【到達目標】 P80～85 菌の種類を学ぶ			11	【授業単元】 前回の結果を確認してみる 【授業形態】 講義 【到達目標】 採取された細菌を調べる		
4	【授業単元】 体臭・汗臭・頭皮の臭い 【授業形態】 講義 【到達目標】 体臭・汗臭・頭皮の臭いの原因について学ぶ			12	【授業単元】 大腸菌とシトロバクター 【授業形態】 講義 【到達目標】 大腸菌とシトロバクターについて学ぶ		
5	【授業単元】 表皮の菌類 【授業形態】 講義 【到達目標】 表皮の菌類について学ぶ 乳酸菌 黄色ブドウ球菌 アクネ桿菌など			13	【授業単元】 化粧品の使用期限 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品の使用期限について学ぶ		
6	【授業単元】 身の回りの細菌を培養してみる。 【授業形態】 講義 【到達目標】 実際の細菌を採取して培養してみる P97～106病気と食品の腐敗について			14	【授業単元】 施術前の消毒実習 【授業形態】 講義 【到達目標】 施術前の消毒を実際に行ってみる		
7	【授業単元】 培養した細菌を確認してみる 【授業形態】 講義 【到達目標】 採取された細菌について学ぶ 黄色ブドウ球菌について、調べる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】		
8	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】			【評価方法について】 中間試験40点 定期試験60点			
【特記事項】 授業の状況によって授業内容が前後する場合がある							

科目名 (英)	皮膚科学 (Dermatology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日 3・4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 日本コスメティック協会化粧品美容総合協会認定指導員のインストラクターが授業を担当する。 スキンケアアドバイザーのスペシャリストを目指すために、皮膚の構造、役割、働き、生理作用の基礎的知識を学ぶ。美しい肌の条件やスキントypes別の皮膚の状態、トラブルスキン別の皮膚の問題点や原因について、また化粧品によるかぶれやアレルギーの種類について学んでいく。 スキンケア化粧品の皮膚に対する効果を皮膚科学的に分かりやすく説明できるスペシャリストを目指してほしい。							
【到達目標】 皮膚の構造と働きを説明できるようになる。 美しい肌とスキントypes別の皮膚の状態を説明できるようになる。 スキントypes別の皮膚の状態と原因を説明できるようになる。 紫外線の皮膚への影響とシミができるメカニズムを説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料				【授業外における学習】 授業で習得した知識を参考にして、化粧品に配合されている成分の皮膚に対しての有効性や期待できる効果の知識を得ることが望ましい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 皮膚の構造と機能、働き 【授業形態】 講義 【到達目標】 皮膚の構造とそれぞれの名称を説明できる 皮膚の働きについて説明できる 皮膚の付属器官について説明できる			9	【授業単元】 ニキビ肌、混合肌の皮膚の状態 【授業形態】 講義 【到達目標】 ニキビのできる過程を説明できる ニキビの種類を説明できる 混合肌の皮膚の状態を説明できる		
2	【授業単元】 表皮の構造と機能、働き 【授業形態】 講義 【到達目標】 表皮の構造とそれぞれの名称を説明できる 表皮の働きについて説明できる			10	【授業単元】 紫外線の皮膚への影響 【授業形態】 講義 【到達目標】 紫外線の種類を説明できる 紫外線日波による皮膚への影響を説明できる 紫外線A波による皮膚への影響を説明できる		
3	【授業単元】 皮膚の水分保持機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 細胞間脂質について説明できる 天然保湿因子について説明できる 皮脂膜について説明できる			11	【授業単元】 シミ・ソバカスが生じた皮膚の状態と原因 【授業形態】 講義 【到達目標】 メラニンができる過程を説明できる シミが生じた皮膚の状態を説明できる シミができる原因を説明できる		
4	【授業単元】 皮膚の免疫機能、血液とリンパの働き 【授業形態】 講義 【到達目標】 皮膚の免疫機能の種類を説明できる 皮膚に関わる血液とリンパの働きを説明できる			12	【授業単元】 シワが生じた皮膚の状態と原因 【授業形態】 講義 【到達目標】 表皮性シワの皮膚の状態を説明できる 真皮性シワの皮膚の状態を説明できる		
5	【授業単元】 皮膚の生理作用、美しい肌の条件 【授業形態】 講義 【到達目標】 皮膚に備わっている生理作用を説明できる 美しい肌の皮膚の状態を説明できる			13	【授業単元】 肌のくすみ、くまが生じた皮膚の状態と原因 【授業形態】 講義 【到達目標】 肌のくすみの原因を列挙できる くすんだ肌の皮膚の状態を説明できる 目元の周りのくすみについて説明できる		
6	【授業単元】 ドライスキンの皮膚の状態と原因 【授業形態】 講義 【到達目標】 ドライスキンの皮膚の状態を説明できる 皮膚を乾燥させる原因を説明できる ドライスキンによる悩みを説明できる			14	【授業単元】 接触皮膚炎、アレルギー肌の知識 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品によるかぶれの種類について説明できる アレルギーの種類について説明できる		
7	【授業単元】 オイルスキンの皮膚の状態と原因 【授業形態】 講義 【到達目標】 オイルスキンの皮膚の状態を説明できる 過剰皮脂の原因を説明できる オイルスキンによる悩みを説明できる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 オイルスキン、ニキビ肌の皮膚の状態や肌の悩み、紫外線による皮膚への影響、シミが生じた皮膚、シワが生じた皮膚、肌のくすみについて知識が定着できている		
8	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 皮膚の構造、役割、働き、生理作用の知識、ドライスキンの皮膚の状態、肌を乾燥させる原因、ドライスキンによる肌の悩みを理解でき知識が定着できている			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業内で修得した専門的な知識の理解、定着度を確認する。筆記試験は中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 毎授業でテキスト内容以外に、必要と思われることをテキスト、またはメモに書き留め覚えること。							

科目名 (英)	化粧品商品論 (Cosmetic Product Theory)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 化粧品カウンター責任者として接客販売、部下育成を経験後、美容インストラクターとして専門教育を行っている教員が授業を担当する。 スキンケアアドバイザーのスペシャリストを目指すために、美容に携わるの業務や接客をスムーズに行う知識として必要な化粧品用語の意味と一つ一つの用語に含まれる内容を深く学ぶ。また、国産化粧品ブランドと外資系化粧品ブランドのスキンケア化粧品の種類と特徴を学んでいく。 日常から授業で学んだ知識を参考に化粧品に表示されている情報や化粧品ブランド発信の化粧品情報を正しく伝えられるスペシャリストを目指してほしい。							
【到達目標】 化粧品用語の内容を理解し意味を説明できるようになる。 化粧品用語を活用したスキンケアアドバイスができるようになる。 化粧品ブランドのスキンケア化粧品の特徴について説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料				【授業外における学習】 様々なスキンケア化粧品について商品情報を調べ、スキンケアステップ、正しい使用方法や有効成分などの知識を得ることが望ましい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】化粧品の歴史 【授業形態】講義 【到達目標】 化粧品発祥から化粧品のルーツを説明できる			9	【授業単元】国産化粧品ブランド 【授業形態】講義 【到達目標】 国産化粧品会社とその傘下の化粧品ブランドについて説明できる		
2	【授業単元】化粧品用語ア行 【授業形態】講義 【到達目標】 「ア」からはじまる化粧品用語の意味を説明できる			10	【授業単元】国産化粧品ブランド研究 【授業形態】講義 【到達目標】 国産化粧品ブランドが扱うスキンケア化粧品について調べ情報を集めてレポートを完成させることができる		
3	【授業単元】化粧品用語カ行 【授業形態】講義 【到達目標】 「カ」からはじまる化粧品用語の意味を説明できる			11	【授業単元】国産化粧品ブランド研究発表 【授業形態】講義 【到達目標】 国産化粧品ブランドが扱うスキンケア化粧品について調べ集めた情報を発表することができる		
4	【授業単元】化粧品用語サ行 【授業形態】講義 【到達目標】 「サ」からはじまる化粧品用語の意味を説明できる			12	【授業単元】外資系化粧品ブランド 【授業形態】講義 【到達目標】 外資系化粧品会社とその傘下の化粧品ブランドについて説明できる		
5	【授業単元】化粧品用語タ行、ナ行 【授業形態】講義 【到達目標】 「タ」、「ナ」からはじまる化粧品用語の意味を説明できる			13	【授業単元】外資系化粧品ブランド研究 【授業形態】講義 【到達目標】 外資系化粧品ブランドが扱うスキンケア化粧品について調べ情報を集めてレポートを完成させることができる		
6	【授業単元】化粧品用語ハ行 【授業形態】講義 【到達目標】 「ハ」からはじまる化粧品用語の意味を説明できる			14	【授業単元】外資系化粧品ブランド研究発表 【授業形態】講義 【到達目標】 外資系化粧品ブランドが扱うスキンケア化粧品について調べ集めた情報を発表することができる		
7	【授業単元】化粧品用語マ行、ヤ行、ラ行 【授業形態】講義 【到達目標】 「マ」、「ヤ」、「ラ」からはじまる化粧品用語の意味を説明できる			15	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 化粧品の歴史、化粧品用語の知識、化粧品会社その傘下の化粧品ブランド名と各ブランドが扱うスキンケア化粧品について理解し知識が定着できている		
8	【授業単元】化粧品用語ア行～ラ行 【授業形態】 【到達目標】 化粧品用語の意味を理解し知識が定着できている			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業内で修得した専門的な知識の理解、定着度を確認する。筆記試験は小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 毎授業でテキストやメモに書き留めて内容を覚えること。							

科目名 (英)	調香演習 (Perfume Exercise)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 2～4時限
【授業の学習内容と心構え】 ブラジル、メキシコで9年間の香料創香業務、日本において創香業務を行ってきた教員が調香の基礎を授ける。 化粧品原料としての香料を理解する。							
【到達目標】 原料香料を使用し調香にトライする。 自分の香りを調香する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回				回			
授 業 概 要				授 業 概 要			
1・2・3 【授業単元】 香料概論 【授業形態】 演習 【到達目標】 香料とは何か				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4・5・6 【授業単元】 合成香料 【授業形態】 演習 【到達目標】 天然香料を知る。香りをかぎながら。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7・8・9 【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 自身の感性を生かす。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
10・11 【授業単元】 天然Fruitを調香してみる 【授業形態】 演習 【到達目標】 自身の感性を生かす。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
12・13 【授業単元】 モチーフとは・・・ 【授業形態】 演習 【到達目標】 創香前にモチーフを作成 マイフレグランス創香				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
14・15 【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 作品提出及び記憶感性実施テスト				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				【評価について】 実技(中間試験40点、定期試験60点)			
【特記事項】							

科目名 (英)	ビジネス会話Ⅰ (Business ConversationⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 航空会社を退職後、専門学校、大学、企業においてマナー講座やコミュニケーション講座を数多く担当してきた教員が授業を担当する 正しいことばづかいと適切な態度を身につけ、スキンケアアドバイザーとして、自信をもってお客さまと会話ができるようになるための授業を行う							
【到達目標】 正しいことばづかいと適切な態度で、お客様や目上の方とスムーズな会話ができるようになる 話の要点や意図をしっかりとめ、伝えたい内容を「正確に」「わかりやすく」「丁寧に」伝えることができる ビジネス会話の前提となるマナーとホスピタリティマインドを身につける							
【使用教科書・教材・参考書】 プリント資料				【授業外における学習】 普段から丁寧なことばづかいとわかりやすい表現の仕方を心がける 普段から相手の立場や状況に合った話し方・表情・態度を心がける			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ビジネス会話とは 【授業形態】 講義 【到達目標】 ビジネス上の会話で意識すべきポイントを説明できる マナーとホスピタリティマインドとは何かを説明できる ビジネス会話になぜマナーやホスピタリティマインドが必要とされるか説明できる			9	【授業単元】 面接での話し方と立ち居振舞い 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 面接時の身だしなみと基本動作(あいさつ、入退室、立ち方、座り方、立ち上がり方)を身につける ここまで学んできたことを活かして面接演習を行い、面接における話し方の改善点を把握することができる		
2	【授業単元】 敬語の使い方 【授業形態】 講義 【到達目標】 尊敬語・謙譲語・丁寧語とは何かを理解し、使い分けができる 間違いやすい敬語の使い方を理解し、正しいことばづかいができる			10	【授業単元】 面接での話し方と立ち居振舞い 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 演習を通して改善点を把握し、今後の対策を講じることができる		
3	【授業単元】 接遇用語 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 よく使われる接遇用語を覚え、接遇用語を使って話すことができる			11	【授業単元】 社内での話し方(指示の受け方と報告の仕方) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 指示の受け方と報告の仕方について説明できる メモをとり、復唱・確認するなど正しく指示を受けることができる 結論→理由→経緯の順にわかりやすく報告することができる		
4	【授業単元】 感じの良い表現の仕方 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 クッション言葉+依頼形で話することができる 肯定表現について説明ができる 相手を不快にさせないことば選び(言い換え)ができる			12	【授業単元】 お客さまとの話し方(電話対応) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 電話のかけ方・受け方のポイントについて説明できる 正しい電話のかけ方ができる 正しい電話の受け方ができる		
5	【授業単元】 感じの良い話し方 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 感じの良い話し方のポイントについて説明ができる ロールプレイングを通して、姿勢・表情・抑揚・発音の仕方・話すスピードなど、自分の話し方の特徴を把握することができる			13	【授業単元】 お客さまとの話し方(クレーム対応) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 クレーム対応の手順について説明できる クレーム対応の際の話し方と態度を身につける		
6	【授業単元】 わかりやすい話し方 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 PREP法のメリットを説明することができる PREP法を用いてわかりやすく話すことができる			14	【授業単元】 総合ロールプレイング 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 さまざまなシーンにおいて、適切な態度と適切なことば選び、話し方ができる		
7	【授業単元】 中間試験 解説 【授業形態】 【到達目標】			15	【授業単元】 定期試験 解説 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 話の聴き方 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 会話をする上でなぜ聴くことが大切なのか説明することができる 傾聴のポイントを三つ以上挙げる 共感のポイントを三つ以上挙げる			【評価方法について】 評価は、中間試験40点と定期試験60点の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	ビジネス会話Ⅱ (Business ConversationⅡ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 化粧品販売及び海外滞在経験を持つ講師が、接客時に役立つ英会話および化粧品に関する用語を日常生活に絡めながら授業を行う。学生の英語に対する苦手意識を少しでも改善し、英語でコミュニケーションをとる楽しさを感じてもらうことも目標の一つである。							
【到達目標】 - 化粧品に関する基礎的な英単語や接客に必要な英会話を述べることができる 「英語が学べて楽しかった」と感じることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 ・PPTスライド ・プリント資料配布				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要				
1	【授業単元】 レッスン1 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・英語で簡単な自己紹介ができるようになる	9	【授業単元】 レッスン9 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・接客で使える簡単な英会話が言えるようになる				
2	【授業単元】 レッスン2 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・百貨店に入っている海外コスメブランドの歴史に触れる ・肌タイプと肌悩みに関係する簡単な英単語や英文が言えるようになる	10	【授業単元】 レッスン10 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・接客で使える簡単な英会話が言えるようになる				
3	【授業単元】 レッスン3 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・百貨店に入っている日本コスメブランドの歴史に触れる ・基礎化粧品に関する簡単な英単語や英文が言えるようになる	11	【授業単元】 レッスン11 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・接客で使える簡単な英会話が言えるようになる				
4	【授業単元】 レッスン4 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・学生自身が普段使っている基礎化粧品について簡単に説明できるようになる	12	【授業単元】 レッスン12 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・日常生活や仕事に役立つ英単語が言えるようになる				
5	【授業単元】 レッスン5 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・ドラッグストアで買える海外コスメブランドの歴史に触れる ・化粧品に関する簡単な英単語や英文が言えるようになる	13	【授業単元】 レッスン13 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・日常生活や仕事に役立つ英単語が言えるようになる				
6	【授業単元】 レッスン6 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・ドラッグストアで買える日本コスメブランドの歴史に触れる ・化粧品に関する簡単な英単語や英文が言えるようになる	14	【授業単元】 レッスン14 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・日常生活や仕事に役立つ英単語が言えるようになる				
7	【授業単元】 レッスン7 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・学生自身が普段使っている化粧品について簡単に説明できるようになる	15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 定期試験				
8	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 中間試験	【評価方法について】 筆記試験を実施し、中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。					
【特記事項】							

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅠ (Skin care CounselingⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 2・4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 化粧品カウンター責任者として接客販売、部下育成を経験後、美容インストラクターとして専門教育を行っている教員が授業を担当する。スキンケアアドバイザーのスペシャリストを目指すために、スキンケア化粧品の種類と使用目的、スキントypesやスキントラブルの皮膚の状態と原因を学ぶ。カウンセリングポイント、スキンケアアドバイザーとしてのマナーをロールプレイングで演習して学んでいく。日頃から自分の肌に合わせスキンケアを実行し、身近な人の肌の悩みに合わせカウンセリングを行いスキンケアアドバイスを自習してほしい。							
【到達目標】 スキンケア化粧品の扱うにふさわしい言葉づかいと表現ができるようになる。 皮膚の状態を見極めスキントypesを明確にできるようになる。 的確なスキンケアアドバイスをするためのカウンセリングができるようになる。 スキンケア化粧品の種類とそれぞれの使用目的、使用方法を説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料				【授業外における学習】 授業で習得した知識と技術を活用して、身近な人々の肌の悩みに対してカウンセリングを行いアドバイスすることが望ましい。			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要				
1～3	【授業単元】 スキンケアアドバイザーの基本と心得 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 誰もが安心してアドバイスが受けられるスキンケアアドバイザーの条件、身に付けるべきことを説明できる	25～27	【授業単元】 オイリースキンのカウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 オイリースキンの皮膚の状態を説明できる オイリースキンと明確にするカウンセリングができる オイリースキンに合わせたスキンケアアドバイスができる				
4～6	【授業単元】 スキンケアカウンセリングテクニックとポイント 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 応酬話法で肌の状態や悩みを聴き出すことができる 現在行っているスキンケアを聴き出すカウンセリングができる	28～30	【授業単元】 混合肌のカウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 混合肌の皮膚の状態を説明できる 混合肌と明確にするカウンセリングができる 混合肌に合わせたスキンケアアドバイスができる				
7～9	【授業単元】 スキンケア化粧品の種類：洗浄化粧品 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 洗浄化粧品の種類と使用目的、正しい使用方法について説明できる	31～33	【授業単元】 ニキビが気になる肌のカウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ニキビができた皮膚の状態を説明できる ニキビが悩みの肌のカウンセリングができる ニキビ肌対策のスキンケアアドバイスができる				
10～12	【授業単元】 スキンケア化粧品の種類：整肌化粧品、賦活化粧品 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 整肌化粧品、賦活化粧品の種類と使用目的、正しい使用方法について説明できる	34～36	【授業単元】 スキントypes別カウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 スキントypes別の皮膚の状態を説明できる スキントypesを見極めるカウンセリングができる スキントypesに合わせたスキンケアアドバイスができる				
13～15	【授業単元】 スキンケア化粧品の種類：保護化粧品 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 保護化粧品の種類と使用目的、正しい使用方法について説明できる	37～39	【授業単元】 シミが気になる肌のカウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 シミが生じた皮膚の状態を説明できる シミが悩みの肌のカウンセリングができる シミ対策のスキンケアアドバイスができる				
16～18	【授業単元】 スキンケア化粧品の効果・効能の表現 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 スキンケアアドバイザーとしての表現で効果を説明できる 化粧品の効果・効能を薬機法により認められている表現で説明できる	40～42	【授業単元】 シワが気になる肌のカウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 シワが生じた皮膚の状態を説明できる シワが悩みの肌のカウンセリングができる シワ対策のスキンケアアドバイスができる				
19～21	【授業単元】 ドライスキンのカウンセリング&アドバイス 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ドライスキンの皮膚の状態を説明できる ドライスキンと明確にするカウンセリングができる ドライスキンに合わせたスキンケアアドバイスができる	43～45	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 スキントypes別やスキントラブル別の皮膚の状態の説明ができ、的確にスキンケアアドバイスするためのカウンセリングと肌に合わせたスキンケア知識と技術が定着している				
22～24	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 化粧品の種類、効果、使用法の知識が定着できている スキンケアアドバイザーとしての言葉づかいと表現、マナーが身につく定着している	【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業内で修得した専門的な知識の理解、定着度を確認する。筆記試験は中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。					
【特記事項】 毎授業でテキストに記載すべき事柄は必ず書き込みやメモをして覚えること。							

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ (Skin care Counseling Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 化粧品カウンター責任者として接客販売、部下育成を経験後、美容インストラクターとして専門教育を行っている教員が授業を担当する。 スキンケアアドバイザーのスペシャリストを目指すために、スキントイプ別、スキントラブル別のスキンケアステップとアイテム別の使用目的、効果的な使用方法をロールプレイングで学ぶ。また、全科目から得た知識を活用してスキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子を完成させる。 日頃から授業内容を復習し、自らスキンケア化粧品の情報収集を行い知識を深め柔軟なスキンケアアドバイスができるスペシャリストになってほしい。							
【到達目標】 スキントイプ別やスキントラブル別に合わせたスキンケアポイントが説明できるようになる。 スキントイプ別やスキントラブル別に合わせたスキンケア化粧品の使用方法が説明できるようになる。 スキントイプ別やスキントラブル別に合わせたスキンケアステップと有効成分の期待できる効果を説明できるようになる。 集大成として全科目で修得した知識を基に個性を活かした独自の冊子を作成できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料				【授業外における学習】 化粧品カウンターやインターネットなどからスキンケア化粧品の情報を収集し、エビデンスに基づいた豊富な知識を高めることが望ましい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1, 2	【授業単元】 ドライスキンに合わせたスキンケア 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ドライスキンのスキンケアステップが説明できる 化粧品に含まれる有効成分の説明ができる ドライスキンに特化した使用方法を説明できる			17, 18	【授業単元】 スキンケアマニュアル作成プランニング① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 スキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子作成の企画書を作成できる		
3, 4	【授業単元】 オイリースキンに合わせたスキンケア 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 オイリースキンのスキンケアステップが説明できる 化粧品に含まれる有効成分の説明ができる オイリースキンに特化した使用方法を説明できる			19, 20	【授業単元】 スキンケアマニュアル作成プランニング② 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子作成の骨組みや内容を決定できる		
5, 6	【授業単元】 混合肌に合わせたスキンケア 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 混合肌のスキンケアステップが説明できる 化粧品に含まれる有効成分の説明ができる 混合肌に特化した使用方法を説明できる			21, 22	【授業単元】 スキンケアマニュアル内容原稿作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子の内容を構成し原稿を作成できる		
7, 8	【授業単元】 ニキビ対策のスキンケア 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ニキビ肌のスキンケアステップが説明できる 化粧品に含まれる有効成分の説明ができる ニキビ肌に特化した使用方法を説明できる			23, 24	【授業単元】 スキンケアマニュアル表紙、挿し絵等原稿作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子の表紙、裏表紙、挿し絵の原稿を作成できる		
9, 10	【授業単元】 シミ対策・紫外線対策のスキンケア 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 シミ対策・紫外線対策のスキンケアステップが説明できる 化粧品に含まれる有効成分の説明ができる シミ対策に特化した使用方法を説明できる			25, 26	【授業単元】 スキンケアマニュアル完成 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子を完成することができる		
11, 12	【授業単元】 シワ対策のスキンケア 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 シワ対策のスキンケアステップが説明できる 化粧品に含まれる有効成分の説明ができる シワ対策に特化した使用方法を説明できる			27, 28	【授業単元】 学内サロン 【授業形態】 演習 【到達目標】 学内サロンに招いたゲストにカウンセリングを行い、スキンケアアドバイスができる		
13, 14	【授業単元】 学内サロン 【授業形態】 演習 【到達目標】 学内のサロンに招いたゲストにカウンセリングを行い、スキンケアアドバイスができる			29, 30	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 スキンケアカウンセリング&アドバイスの冊子をエビデンスに基づいて作成できる知識が定着できている		
15, 16	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 スキントイプ別、トラブルスキン別のスキンケアアドバイスができる化粧品、有効成分、効果的な使用方法の知識が定着できている			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業内で修得した専門的な知識の理解、定着度を確認する。筆記試験は中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業で学んだ知識や自ら収集した知識を、学内サロンや冊子作製に活かすように心掛ける。							

科目名 (英)	化粧品トータルセールス (Cosmetic Sales technic)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 3限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学卒業後20年間、一貫してブランドの垣根を越えたカウンセリング販売に従事した講師が担当する。幅広い価格帯の化粧品とブランド、客層に接しフラットな視点でのカウンセリングを提供してきた。フリーのコスメアドバイザー、パーソナルカラーアナリスト、メイクアップアーティストとしても活動中。 日本化粧品検定協会認定コスメコンシェルジュ、CAA認定プラチナ講師							
【到達目標】 お客様に喜んでもらうためには何をすればいいのか、あらゆる方向からお客様満足度を上げる方法を考える。 在学中から接客レベルを上げることで、即戦力で働けるよう、知識と技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 日本化粧品検定2級・3級 1級テキスト 美容成分キャラ図鑑				【授業外における学習】 復習をする。接客を見るようにする。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 接客に必要なことって何？ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 接客に必要なことを確認する。 今までの経験や、接客に必要なことを確認する。			9	【授業単元】 接客に必要な計算を学ぶ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 消費税の計算や達成率の計算 目標管理について考えることができる。		
2	【授業単元】 接客用語と立居振る舞い 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 接客時の待機姿勢や話し方を学ぶ。 自分の話し方や仕草の癖を確認する。			10	【授業単元】 新製品の予約取りのコツ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 お客様の購入心理を学ぶ。 どうすれば新製品の予約どりができるか、作戦を立ててみる。		
3	【授業単元】 クレームの心理とクレーム対応 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 クレーム対応と対策を学ぶ。 クレームを言うお客様の真理を学び、その対応を考える。			11	【授業単元】 楽しい接客とは？ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 お客様が楽しくなる接客を学ぶ。 お客様を自分のファンにするための方法を学ぶ。		
4	【授業単元】 化粧品の薬事関係法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品に関する法律を学ぶ。 化粧品の接客をする際に必要な法律を学ぶ。			12	【授業単元】 美容業界のキャリアについて 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 美容業界でのキャリアについて考える。 様々な職種がある事を知り、活躍の幅を広げられるようにする。		
5	【授業単元】 メイクアップのアドバイス① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ。 メイクの悩みに合わせたアドバイスの仕方を学ぶ。			13	【授業単元】 SNSと薬事関係法規 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 SNSでの表現方法を学ぶ。		
6	【授業単元】 メイクアップのアドバイス② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 メイクアップアドバイスのレベルを上げる。 より細かいメイクアップアドバイスが出来るようになる。			14	【授業単元】 総合演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 どのような場合の接客でもこなせるようになる。 テーマに合わせた接客が出来る様の実習してみる。		
7	【授業単元】 メイクアップのアドバイス③ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 メイクアップアドバイスのレベルを上げる。 パーソナルカラーについての基礎知識を身につける。			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 今まで学んだことを確認する。		
8	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 今まで学んだことを確認する。			【評価方法について】 中間試験40点 定期試験60点			
【特記事項】							

科目名 (英)	ビューティメイク (Beauty Make up)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 グループ校を卒業後、ヘアメイクアップアーティスト長田博文に師事し、約7年間のヘアメイクアシスタント経験を経て、2023年にフリーランスのヘアメイクアップアーティストとして活動している講師が授業を担当する。芸能人、アーティストのヘアメイク、雑誌・広告のヘアメイク、またブライダルのヘアメイクと多岐にわたって活動している。この授業では数々の現場で培ったスキルを活かし、メイクアップに必要な専門的な知識と技術の基礎を習得する授業を行う。							
【到達目標】 メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 マナー・セッティング 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクアップのマナー、セッティングの仕方を習得する			9	【授業単元】 ポイントメイク(アイライン・アイラッシュ) 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケア～ベースメイク～アイブロウ～アイシャドー～アイライン～アイラッシュ復習／アイシャドーのつけ方を習得する・アイラインの引き方、アイラッシュのつけ方に慣れる		
2	【授業単元】 スキンケア 【授業形態】 演習 【到達目標】 クレンジング・ふき取り・化粧水・乳液のつけ方、スキンケアの仕方を理解する 【小テスト 2点】			10	【授業単元】 ポイントメイク(リップ・チーク) 【授業形態】 演習 【到達目標】 リップ・チークのつけ方／リップ・チークのつけ方を理解する 【小テスト 2点】		
3	【授業単元】 スキンケア／ベースメイク 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケアの仕方を習得する／ベースメイクの手順と目的を理解する			11	【授業単元】 中間試験(1組目) 【授業形態】 演習 【到達目標】 フルメイクを35分で仕上げることができる、各パーツを美しく仕上げることができる		
4	【授業単元】 ベースメイク／ポイントメイク(アイブロウ) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ベースメイクの作り方を理解する／アイブロウ描き方を理解する 【小テスト 2点】			12	【授業単元】 中間試験(2組目) 【授業形態】 演習 【到達目標】 フルメイクを35分で仕上げることができる、各パーツを美しく仕上げることができる		
5	【授業単元】 ポイントメイク(アイブロウ) 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケア～ベースメイク～アイブロウ復習／ベースメイクを習得する・アイブロウを描くことに慣れる			13	【授業単元】 フェイスプロポーション 【授業形態】 演習 【到達目標】 フェイスプロポーションを計測する／フェイスプロポーションを計測し自身や他者の顔の違い、それによる印象の違いを理解する		
6	【授業単元】 ポイントメイク(アイシャドー) 【授業形態】 演習 【到達目標】 アイシャドーつけ方を理解する 【小テスト 2点】			14	【授業単元】 ベースメイク 【授業形態】 演習 【到達目標】 シェーディングの入れ方／顔のバランスによってシェーディングの入れ方を変えたほうが良いことを理解する 【小テスト 2点】		
7	【授業単元】 ポイントメイク(アイシャドー) 【授業形態】 演習 【到達目標】 スキンケア～ベースメイク～アイブロウ～アイシャドー復習／アイブロウの描き方を習得する・アイシャドーのつけ方に慣れる			15	【授業単元】 イメージメイク(キュート)1組目 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクの仕方の違いでイメージを変えられることを理解する		
8	【授業単元】 ポイントメイク(アイライン・アイラッシュ) 【授業形態】 演習 【到達目標】 アイラインの引き方・アイラッシュのつけ方／アイラインの引き方・アイラッシュのつけ方を理解する 【小テスト 2点】			【評価方法について】 【中間試験】40点満点(実技試験30点満点＋小テスト合計10点) 【定期試験】60点満点(実技試験50点満点＋小テスト合計10点)			
【特記事項】							

科目名 (英)	ビューティメイク (Beauty Make up)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 グループ校を卒業後、ヘアメイクアップアーティスト長田博文に師事し、約7年間のヘアメイクアシスタント経験を経て、2023年にフリーランスのヘアメイクアップアーティストとして活動している講師が授業を担当する。芸能人、アーティストのヘアメイク、雑誌・広告のヘアメイク、またブライダルのヘアメイクと多岐にわたって活動している。この授業では数々の現場で培ったスキルを活かし、メイクアップに必要な専門的な知識と技術の基礎を習得する授業を行う。							
【到達目標】 メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 イメージメイク(キュート)2組目 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクの仕方の違いでイメージを変えられることを理解する 【小テスト 2点】				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
17	【授業単元】 イメージメイク(クール)1組目 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクの仕方の違いでイメージを変えられることを理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
18	【授業単元】 イメージメイク(クール)2組目 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクの仕方の違いでイメージを変えられることを理解する 【小テスト 2点】				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
19	【授業単元】 イメージメイク(エレガント)1組目 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクの仕方の違いでイメージを変えられることを理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
20	【授業単元】 イメージメイク(エレガント)2組目 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクの仕方の違いでイメージを変えられることを理解する 【小テスト 2点】				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
21	【授業単元】 定期試験トレーニング(1組目) 【授業形態】 演習 【到達目標】 イメージメイクをスキンケア含めて30分で仕上げるができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
22	【授業単元】 定期試験トレーニング(2組目) 【授業形態】 演習 【到達目標】 イメージメイクをスキンケア含めて30分で仕上げるができる 【小テスト 2点】				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
23	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 イメージメイクをスキンケア含めて30分で仕上げるができる				【評価方法について】 【中間試験】40点満点(実技試験30点満点＋小テスト合計10点) 【定期試験】60点満点(実技試験50点満点＋小テスト合計10点)		
【特記事項】							

※授業回数が15回を超える場合は、Excelシートをコピーの上、16回目以上のシラバスをご作成ください

科目名 (英)	化粧品製作実習 (Cosmetic Product Tranning)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 化粧品業界において研究開発経験を有し、大学・専門学校において化学・化粧品分野の教員経験が10年以上ある教員が、化粧品を学ぶための基本となる知識、技術を習得するための授業を行う。特に、技術の習得は実際に自分の手を動かして初めて可能となるので、遅刻・欠席をせず、積極的に実習に参加して欲しい。							
【到達目標】 化粧品分野における基本的な知識を説明できる。 化粧品における処方の成り立ちや各成分の働き、配合目的などの分野の化粧品検定1級の問題を解くことができる。 簡単な化粧品を試作できる。化粧品の試作について報告書を書くことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 配布実習書・化粧品検定1級テキスト				【授業外における学習】 前もって実習書を予習しておくこと 実習後に化粧品検定1級問題集の該当部分の問題を解いてみること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1・2	【授業単元】 オリエンテーショ・化粧品原料 【授業形態】 実習 【到達目標】 実習における決まりを遵守できる この実習の概要がわかり見通しが立てられる 予習のやり方を実践できる 化粧品検定一級で出てくる原料を分類できる 油性原料と水性原料を区別できる			17・18	【授業単元】 パック 【授業形態】 実習 【到達目標】 パックの種類を説明できる クレイパックを製造できる		
3・4	【授業単元】 市販化粧水の評価 【授業形態】 実習 【到達目標】 官能評価の重要性を説明できる 評価シートに沿って市販化粧品の官能評価が出来る 自分なりにけ市販化粧水を評価できる			19・20	【授業単元】 シャンプー 【授業形態】 実習 【到達目標】 毛髪の構造を説明できる シャンプーに使われる界面活性剤を説明できる 簡単なシャンプーを製造できる		
5・6	【授業単元】 化粧水の製作 【授業形態】 実習 【到達目標】 主な保湿剤の感触をシートに記載できる 香料を可溶化できる 簡単な化粧水を製造できる			21・22	【授業単元】 リンス・トリートメント 【授業形態】 実習 【到達目標】 リンスに使われる界面活性剤を説明できる トリートメントを製造できる 毛束を用いてトリートメントを評価できる		
7・8	【授業単元】 乳化基礎実習 【授業形態】 実習 【到達目標】 基本的な乳化の操作ができる O/W 乳化物とW／O乳化物の区別が出来る			23・24	【授業単元】 洗い流さないトリートメント 【授業形態】 実習 【到達目標】 毛髪の損傷原因を説明できる オイルミストを製造できる		
9・10	【授業単元】 クリーム 【授業形態】 実習 【到達目標】 コールドクリームを製造できる エモリエントクリームを製造できる			25・26	【授業単元】 リップクリーム 【授業形態】 実習 【到達目標】 唇の皮膚の特性を説明できる リップクリームを製造できる		
11・12	【授業単元】 クレンジング 【授業形態】 実習 【到達目標】 様々なタイプのクレンジングの効果を比較できる ジェルタイプのクレンジングを製造できる			27・28	【授業単元】 マニキュア 【授業形態】 実習 【到達目標】 爪の構造を説明できる マニキュアを製造できる		
13・14	【授業単元】 石けん 【授業形態】 実習 【到達目標】 石けんの合成原理がわかる 石けん製造方法のけん化法と中和法を説明できる			29・30	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 実習 【到達目標】 この実習の振り返りができる		
15・16	【授業単元】 洗顔料 【授業形態】 実習 【到達目標】 洗顔料に使われる界面活性剤を分類できる クリームタイプの洗顔料を製造できる ポンプフォームタイプの洗顔料を製造できる			【評価方法について】 中間試験(40点満点) 実施方法:筆記試験の代わりに毎回の実習レポートで評価する 定期試験(60点満点) 実施方法:筆記試験 実習で習得した専門的な知識・技術の理解、定着度を確認する 合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	スキンケア製品製作実習 (Skin care Cosmetic Product Training)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 1～4限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 化粧品メーカーでスキンケア品、ヘアケア品などの商品開発、処方設計、素材開発を行っていた教員が授業を担当する。 スキンケアアドバイザーのスペシャリストを目指すために、洗顔料、化粧水、乳液、クリームなどのスキンケア品を実際に作製する。それを通してスキ ケア品の処方構成、用いられている原料、製剤化技術、使用感評価等を学んでいく。 スキンケア品の処方や原料を理解し、スキンケアに関する的確なアドバイスができるスペシャリストを目指して欲しい。							
【到達目標】 ・スキンケアのステップで用いられる各製品の主な処方構成、原料及びその配合目的を説明できる。 ・各製品を作製する際に用いられている製剤化技術を説明できる。 ・製品の使用感を評価できる。 ・上記の到達目標により、処方面から化粧品使用者のニーズに合った的確なアドバイスができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材 ： 配布プリント				【授業外における学習】 専門用語や様々な原料名が頻繁に出てくるので、配布プリントを十分 復習し、確実に身に付けて欲しい。			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要				
1～4	【授業単元】 スキンケア化粧品の目的の理解 【授業形態】 実習 【到達目標】 実習の進め方、製品製作に当たっての注意点を理解する。 スキンケア化粧品の目的、機能、使用ステップを理解する。 化粧水の種類、目的、機能や可溶化について理解する。 化粧水の処方、原料、製剤化技術を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
5～8	【授業単元】 クレンジングフォームの処方、製法の理解 【授業形態】 実習 【到達目標】 界面活性剤の機能、種類を理解する。 洗顔料の目的、機能を理解する。 クレンジングフォームの処方、原料、製法を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
9～12	【授業単元】 乳液の処方、製法の理解 【授業形態】 実習 【到達目標】 乳化について理解する。 乳液の目的、機能、種類を理解する。 乳液の処方、原料、製法を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
13～16	【授業単元】 中間試験、クリームの処方、製法の理解① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 第1回～第3回の講義・実習内容を振り返り、理解する。 ＜中間試験＞第1回～第3回の内容の理解度を把握する。 クリームの目的、機能、種類を理解する。 エモリエントクリームの処方、原料、製法を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
17～20	【授業単元】 クリームの処方、製法の理解② 【授業形態】 実習 【到達目標】 乳化におけるHLBについて理解する。 クレンジングクリーム、マッサージクリームの処方、原料、製法を理 解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
21～24	【授業単元】 ジェル、エッセンスの処方、製法の理解 【授業形態】 演習 【到達目標】 ジェル、エッセンスの目的、機能を理解する。 ジェル、エッセンスの処方、原料、製法を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
25～28	【授業単元】 UVケア化粧品、パックの処方、製法の理解 【授業形態】 実習 【到達目標】 UVケア化粧品の目的・機能、SPF・PFAを理解する。 UVケア化粧品の処方、原料、製法を理解する。 パック、マスクの目的、機能を理解する。 パック、マスクの処方、原料、製法を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
29、30	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 第5回～第7回の講義・実習内容を振り返り、理解する。 ＜定期試験＞第5回～第7回の内容の理解度を把握する。 ジェル石鹸の処方、原料、製法を理解する。		【評価方法について】 前半(1～4回目):各回の実習レポート40%、中間試験60% 後半(5～8回目):各回の実習レポート40%、定期試験60% 全体としては、各回の実習レポート40%、中間試験30%、定期試験30% 実習レポート: 実習の目的や方法、結果、考察及び感想(実習で感じたこと、 印象に残った点、気付いたことなど)をまとめる。				
【特記事項】							

科目名 (英)	日本化粧品検定講座 (Cosmetic License Preparation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 美容業界において、長年、従事してきた教員が授業を担当する。日本化粧品検定は、化粧品を正しく使う知識や、化粧品についてのスペシャリストを育成する為の検定である。化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方が出来るようになるために必要な知識であり、スキンケアアドバイザーとして必要な知識である。							
【到達目標】 プロのスキンケアアドバイザーとして必要な知識を、しっかりと理解し、その知識を仕事として使えるレベルまで身に付け、日本化粧品検定1級に合格し、コスメコンシェルジュ資格を取得しましょう。							
【使用教科書・教材・参考書】 日本化粧品検定1級対策テキスト・2級対策テキスト 1級対策問題集・2級対策問題集				【授業外における学習】 予習・復習をする。数回の宿題の提出			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 化粧品検定3級範囲 【授業形態】 演習 【到達目標】 自分の化粧品知識の間違いを正す。3級のテストを解いて、理解を深める。			9	【授業単元】 化粧品原料について② スキンケア商品について 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品原料について理解する。スキンケア商品について理解する。前回授業のおさらいで、化粧品原料の中でも、大切な知識、水溶性成分・油性成分・界面活性剤の復習をして、しっかりと理解を深めた後、スキンケア商品について理解する。学習した問題集の問題を解いて理解を深める。		
2	【授業単元】 化粧品検定2級・皮膚・肌について 【授業形態】 演習 【到達目標】 表皮・真皮の構造と仕組みを知ろう。学習した範囲の問題集の問題を解く。宿題・皮膚の断面図のイラストに、各皮膚の名称を記入する。			10	【授業単元】 スキンケア商品について② 【授業形態】 演習 【到達目標】 前回の授業に続き、様々なスキンケア商品について理解する。前回の授業に続き、様々なスキンケア商品について理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。		
3	【授業単元】 肌の手入れと正しい知識・乾燥・ニキビ・毛穴 【授業形態】 演習 【到達目標】 肌タイプの見分け方や、肌の悩みに合わせたお手入れ方法を理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。			11	【授業単元】 中間試験直前の2級対策の振り返り総復習 【授業形態】 演習 【到達目標】 中間試験合格ラインを目指して、直前対策講座で2級の内容をおさらいする。		
4	【授業単元】 肌の手入れと正しい知識・シミ・くすみ・クマ・しわ・たるみ 【授業形態】 演習 【到達目標】 肌の悩みに合わせたお手入れ方法を理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。			12	【授業単元】 中間試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 2級の模試を実施(中間テストとして解答用紙を回収、その後に解説を行う。)		
5	【授業単元】 メイクアップの基本テクニック 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 基本のメイクアップの知識と、肌悩みをカバーする方法を理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。			13	【授業単元】 メイクアップ化粧品について 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクアップ化粧品の種類や成分を理解する。学習した問題集の問題を解いて理解を深める。		
6	【授業単元】 美肌・美ボディー生活を送るためには？ 【授業形態】 演習 【到達目標】 肌を劣化させる様々な要因を理解し、それに負けないお手入れの方法を理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。			14	【授業単元】 メイクアップ化粧品について② 【授業形態】 演習 【到達目標】 メイクアップ化粧品の種類や成分を理解する。学習した問題集の問題を解いて理解を深める。		
7	【授業単元】 美肌・美ボディー生活を送るためには？ 紫外線編 【授業形態】 演習 【到達目標】 肌を劣化させる要因の一つ、紫外線の種類と対策を理解する。肌を劣化させる要因の一つ、紫外線の種類と対策を理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。			15	【授業単元】 ボディーケアについて 【授業形態】 演習 【到達目標】 ボディーケアの仕方や関連商品の知識を理解する。学習した問題集の問題を解いて理解を深める。		
8	【授業単元】 化粧品検定1級 化粧品の歴史、化粧品原料について 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品の歴史、化粧品原料について理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。検定テキストで修得した専門的な知識の理解、定着度と日本化粧品検定2・3級、1級に合格できるレベルに達しているかを確認する。筆記試験は中間試験(2級模試)40点と定期試験(1級模試)60点の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	日本化粧品検定講座 (Cosmetic License Preparation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 美容業界において、長年、従事してきた教員が授業を担当する。日本化粧品検定は、化粧品を正しく使う知識や、化粧品についてのスペシャリストを育成する為の検定である。化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方が出来るようになる為に必要な知識であり、スキンケアアドバイザーとして必要な知識である。							
【到達目標】 プロのスキンケアアドバイザーとして必要な知識を、しっかりと理解し、その知識を仕事として使えるレベルまで身につけ、日本化粧品検定1級に合格し、コスメコンシェルジュ資格を取得しましょう。							
【使用教科書・教材・参考書】 日本化粧品検定1級対策テキスト・2級対策テキスト 1級対策問題集・2級対策問題集				【授業外における学習】 予習・復習をする。数回の宿題の提出			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 ヘアケアについて 【授業形態】 演習 【到達目標】 ヘアケア化粧品の成分や種類を理解する。 学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
17	【授業単元】 ネイルについて 【授業形態】 演習 【到達目標】 ネイル化粧品の成分や種類を理解する。 学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
18	【授業単元】 香り・オーラルケアについて 【授業形態】 演習 【到達目標】 香り・オーラルケアについて理解する。 学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
19	【授業単元】 サプリメントについて 【授業形態】 演習 【到達目標】 サプリメントについて理解する。 学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
20	【授業単元】 化粧品にまつわるルール 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品に関する法律を理解する。 学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
21	【授業単元】 化粧品にまつわるルール② 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品に関する法律を理解する。 前回の授業の続きで、化粧品の全成分表示・安全性を守るルール・化粧品と肌トラブル・化粧品の官能評価に関する知識を理解する。学習した範囲の問題集の問題を解いて理解を深める。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
22	【授業単元】 定期試験直前の1級対策の振り返り総復習 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験合格ラインを目指して、直前対策講座で1級の内容をおさらいする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
23	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 模擬試験を行う。 1級の模試を実施(定期試験として解答用紙を回収、その後に解説を行う。)				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。検定テキストで修得した専門的な知識の理解、定着度と日本化粧品検定2・3級、1級に合格できるレベルに達しているかを確認する。筆記試験は中間試験(2級模試)40点と定期試験(1級模試)60点の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	美容総合検定 スキンケアマイスター講座 (Skin Care Liscense Preparaion)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	学科・専攻 スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 2、3限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 日本コスメティック協会化粧品美容総合協会認定指導員のインストラクターが授業を担当する。 スキンケアアドバイザーのスペシャリストを目指すために、エビデンスに基づいたアドバイスを行う必要な化粧品の知識、化粧品に関わる法規、皮膚科学、スキンケアの方法、美容医療、エステティックの定義、アロマの知識、サプリメントの知識を学ぶ。また、日本コスメティック協会スキンケアマイスターを取得する。 日常から日本コスメティック協会検定テキストの予習と復習の自習をし、スキンケアマイスター検定試験の合格を目指してほしい。							
【到達目標】 皮膚科学に基づいた説明でスキンケアアドバイスができるようになる。 日本コスメティック協会美容総合スキンケアマイスター検定に合格できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 日本コスメティック協会検定テキストQ&A 日本コスメティック協会検定試験参考図書				【授業外における学習】 知識をより深める事柄や分からない内容については、日本コスメティック協会検定試験参考図書を用いて学習することが望ましい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 検定テキストQ1～Q12 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品の定義を説明できる 化粧品の成分表示について説明できる 化粧品の誤飲や使用による異常の処置を説明できる			9	【授業単元】 検定テキストQ166～Q175 【授業形態】 演習 【到達目標】 アロマに使用する精油の種類を説明できる アロマに関する法律を説明できる キャリアオイルについて説明できる		
2	【授業単元】 検定テキストQ13～Q42(Q32～Q36除く) 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品アイテム別の使用目的と効能の範囲を説明できる スキンケア化粧品アイテム別の特徴を説明できる メイクアップとフレグランスの使用方法を説明できる			10	【授業単元】 検定テキストQ176～Q183 【授業形態】 演習 【到達目標】 サプリメント製品の種類について説明できる サプリメントの摂取方法と弊害について説明できる 微量元素について説明できる		
3	【授業単元】 検定テキストQ43～Q62 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品に配合されている成分の特徴、効果を説明できる 美白剤の働きと代表的な薬剤を説明できる			11	【授業単元】 検定テキストQ32～Q36、Q118～122 【授業形態】 演習 【到達目標】 紫外線対策のスキンケア化粧品を説明できる メラニンがつくられるメカニズムを説明できる		
4	【授業単元】 検定テキストQ63～Q80 【授業形態】 演習 【到達目標】 化粧品に用いる酸化防止剤、エタノールの説明ができる サンスクリーン剤の種類と働きを説明できる 化粧品に配合する香料の役割を説明できる			12	【授業単元】 模擬試験、解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 検定テキストQ1～Q80の知識が定着できているか		
5	【授業単元】 検定テキストQ81～Q112 【授業形態】 演習 【到達目標】 皮膚の構造、役割、働きを説明できる 肌質タイプ別特徴、アトピー性皮膚炎の説明できる 紫外線による皮膚トラブルを説明できる			13	【授業単元】 模擬試験、解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 検定テキストQ81～Q183の知識が定着できているか		
6	【授業単元】 検定テキストQ113～Q141 【授業形態】 演習 【到達目標】 肌荒れの原因と対策を説明できる 肌トラブルの原因と対策を説明できる 毛髪、爪の構造と仕組みについて説明できる			14	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 日本コスメティック協会検定テキストQ&Aの内容を理解し、スキンケアマイスター検定合格できる知識が定着できている		
7	【授業単元】 検定テキストQ142～Q165 【授業形態】 演習 【到達目標】 エステティックの定義と施術の領域について説明できる エステティックの施術の種類を説明できる 美容医療について説明できる			15	【授業単元】 スキンケアマイスター検定受験 【授業形態】 【到達目標】 日本コスメティック協会美容総合スキンケアマイスター検定を受験し合格できる		
8	【授業単元】 模擬試験、中間試験 【授業形態】 【到達目標】 検定テキストQ1～Q165(Q32～Q36、Q118～122は除く)の知識が定着できている			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。検定テキストで修得した専門的な知識の理解、定着度とスキンケアマイスター検定合格に達しているかを確認する。筆記試験は中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 分からないところはそのままにせず、そのつど質問する、またはテキストを見直すなど確実に覚えること。							

科目名 (英)	全国化粧品販売員検定講座 (Makeup Liscense Preparation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	スキンケアアドバイザー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日 1、2限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師が授業を担当する。							
【到達目標】 美容部員として必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格 を取得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品業界の現状と動向を理解しグループ会社別のアウトオブプランを説明できる。			9	【授業単元】 化粧品学2 【授業形態】 講義 【到達目標】 全成分表示、美容成分、メラニンのメカニズム、美白成分、薬用化粧品の有効成分、品質向上、安定化成分の理解と説明ができる。		
2	【授業単元】 化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム 【授業形態】 講義 【到達目標】 基礎化粧品(スキンケア化粧品)を理解し説明できる。			10	【授業単元】 化粧品学3 【授業形態】 講義 【到達目標】 メイクアップ化粧品の構成成分、顔料と染料、フレグランスの知識までの理解と説明ができる。		
3	【授業単元】 化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム 【授業形態】 講義 【到達目標】 仕上げ様化粧品(メイクアップ化粧品)を理解し説明できる。			11	【授業単元】 皮膚科学1 【授業形態】 【到達目標】 皮膚とは、表皮・真皮、皮膚付属器官の理解と説明ができる		
4	【授業単元】 接客販売1 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品販売員の役割、心構え、資質、ホスピタリティー、マナー、パーソナルスペース、売上の考え方までの理解。			12	【授業単元】 皮膚科学2 【授業形態】 【到達目標】 爪、まつ毛、皮下組織、役割、季節と肌までの理解と説明ができる。		
5	【授業単元】 接客販売2 【授業形態】 講義 【到達目標】 販売行動のプロセス～接客の流れ～クロージング、クレーム対応までの理解。			13	【授業単元】 スキンケアカウンセリング 【授業形態】 【到達目標】 スキントイプ、皮膚のトラブル、スキンケアカウンセリングまでの理解と説明ができる。		
6	【授業単元】 化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 練習問題8割以上の正解。			14	【授業単元】 化粧品販売員検定シルバー期末試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 練習問題8割以上の正解。		
7	【授業単元】 化粧品販売員検定ブロンズ中間試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 ブロンズ資格の取得			15	【授業単元】 化粧品販売員検定シルバー定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】 シルバー資格の取得		
8	【授業単元】 化粧品学1 【授業形態】 講義 【到達目標】 化粧品とは、薬機法、効能効果、薬用化粧品、構成成分の理解と説明ができる。			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							